

ウクライナの平和を願って

◎特別講演「歴史から見るウクライナとロシア」



6月4日、鬼北町出身で獨協医科大学准教授の木村真三さんを講師に迎え、特別講演が行われました。

8年前のクリミア併合から始まった、ロシアとウクライナの戦争の歴史を、自身のチェルノブイリ原発訪問の経験なども交えて解説。併せて、4月5日に避難民として政府専用機で来日したルバン・オリガさんが、攻撃で破壊されて失った職場のことや、離ればなれになった友人のことなど、現地での戦争体験を語りました。参加者たちは、異国の地での戦争を身近な事として、関心を示していました。

花の彩りで街を美しく

◎花いっぱい運動



5月、北宇和高校生の育てた花苗が、各地区公民館を通して自治会等に配布され、道路沿いの花壇などで、花いっぱい運動が展開されました。

今回はポチュラカの花苗約8,000株を配布。近永の岡崎鼻交差点では、雑草対策と水やりの手間を抑えるためのマルチが施され、北宇和高校の生徒と教員が協力して、花苗を丁寧に植栽していました。

次回は10月頃に、ビオラの苗を配布予定です。美しいまちづくりのため、地域の皆様のご協力を、よろしくお願ひします。



5月29日、松山市のニンジニアスタジアムで、松前町・鬼北町のマッチタウンとして愛媛FCの試合が行われました。近永スポーツ少年団の鬼北チグリーニョがエスコートキッズを務めたほか、北宇和高校馬術部によるポニーとのふれあい体験、太鼓集団「魁」の演奏、グルメコーナーではフェザンフィレールが「鬼北熟成きじ」を出店し、イベントを盛り上げました。

この日、ヴァンラーレ八戸を相手に3-1で快勝した愛媛FC。参加した子ども達は、プロの技を目の当たりにし、目を輝かせて観戦していました。

1_鬼北チグリーニョの子ども達 2_乗馬体験に多くの家族連れが訪れた北高馬術部 3_キジ串焼きを販売したフェザンフィレール 4_夢夢大使も町のPRで大活躍 5_松前町は「はんぎり」で町をPR 6_オープニングを盛り上げた太鼓集団「魁」

マッチタウンで鬼北の魅力をPR

◎愛媛FCマッチタウン

